



東 北 方 面

開發上利用範圍も自然擴大するので此際萬難を排しても決行せねばならないと専ら言はれてゐる。

橋浦村地内町村道改修

宮城縣桃生郡橋浦村では同村經由本吉郡横山村に通ずる村道の改修を行ふべく目下準備中である。本來横山、橋浦間の連絡は北上川改修工事完了後陸路に依るを交通上極めて有利とし、殊に横山村では橋浦村境の峠まで立派に改修してゐるのだから橋浦村地内を改修すれば一貫した道路となり従て將來陸路交通の不便な本吉郡方面の産業

鹽松海濱道路と

知事の変更

宮城縣鹽釜松島間の海濱道路問題も七八分通り進行し、地方民の運動如何に依り實現容易と見られて居たが、之を仙鹽道路と共に置土産としてゐた牛塚知事の榮轉でどうなるかと杞憂される如く噂され初めたが、此の地帯は疾くに道路の開鑿を必要視されてゐたので、假令長官の変更があつて

參道改修協議

も實現は確實であるといふ。

宮城縣桃生郡廣瀨村々社鹿島神社參道改修問題に付き、去月二十七日村役場に於て區民有志大會を開き協議の結果村當局に向かつて必要敷地買収を請願し作業一切は區民の奉仕を以てすることに申合せた。因に關係地主の一人として縣議小島眞助氏は卒先敷地を寄附した。

北 越 方 面

損傷道路の修理を自動車

業者自身に負擔さす

新潟縣では一般豫算緊縮の結果、土木費も多大の削減を受け、新規事業は勿論道路の修理費にも窮するに至つたので、道路法第四十條の規定を適用して道路の維持修理を爲さしむることとなつた。

即ち従來乗合自動車の頻繁な新潟、新津附近では、自動車營業者が數百圓から數千圓の工事費を負擔しつゝあつたが、中越地方には未だ斯る實例は無かつた。然るに近年長岡を中心として乗合自動車の發達は著しく、國縣道損傷も想像外で之が維持修繕に當つて居る長岡土木派遣所では、多くの犠牲を拂つてゐるが、緊縮で豫算はすつかり削られ、從來の如く自動車營業者に満足な與へることが出来なくなつたので、愈々此の第四十條を適用し、其の結果十月十一日には長岡、大積、宮本間を運轉する乗合自動車會社は縣道柏崎長岡線の修理を爲すこととなり、材料の砂利を長岡土木派遣所から受取つて運轉區間の道路を修理した。

やがて此の法條の適用に因り、自から損傷した道路を自から修理しなければならぬ會社も多くなる譯で、不景氣の今日自動車營業者にとつては大恐慌であらうが、負擔の公平と言ふ點から見れば誠に當然事である

地方通信

から、一般に非常な好評を以て見られて居る。

三條新大橋竣工式

新潟縣南蒲原郡三條町三條停車場線五十嵐川架橋工事(新大橋)は愈々今回竣工したので本月一日午前十一時より竣工式を舉行する筈であるといふ。

近畿方面

京口、立野、

堀川の三橋渡初式

兵庫縣豐岡町から新田村、三江村、田鶴野村等に通ずる新圓山川に架設の京口橋、立野大橋、堀川橋の三橋は過竣竣工を告げ去月三日午前十一時から豐岡小學校で盛大な竣工式を挙げた。各橋の渡初式の後四ヶ町村合同の竣工祝賀の宴を催ふし、小學校兒童は旗行列で渡橋し、關係町村を練り歩

き大賑はひを呈した。猶當日縣から高橋知事を初め坂間内務、三輪土木兩部長、上田道路、廣瀬會計、由良庶務、古賀地方の各課長、末久官房主事外數氏列席した。

道路愛護作業の實施

兵庫縣上東條村青年團は去月一日午前五時早起會を開催道路愛護作業を實施した。

渡瀬橋竣工

兵庫縣多紀郡味間、岡野兩村に亘る篠山川の渡瀬橋架換工事は本年一月の起工、工費三萬九千五百圓、延長四十二間、有効幅員三間三分、取付道路延長七十五間、有効幅員四間、鐵筋コンクリート最新式で、工事も愈々竣工し、十月十一日午前十時から渡初式を盛大に舉行した。

中國方面

道路損傷再調査施行

山口縣自動車損傷負擔金賦課は既に本省より許可を得たので九月より賦課する豫定であつたが、土木課に於ける道路損傷程度調査が完了せず、未だ賦課の運びに至らなかつた。右の調査は漸く此の税完了するに至つたが、併し猶不備な點であるので再調査を爲すこととなり、負擔金の徴收は早くとも十二月に入る見込みである。徴收金額は一期分一萬四千圓で、更に年度内に第二期分を引續き徴收し、豫算額の三萬五千圓全額を收納する豫定である。

御幸橋架替の前途尙疑問

廣島市内御幸橋の架替工事は、昨年縣會に於て總經費四十九萬四千圓(支出内譯十二萬三千五百圓廣島瓦斯電軌會社、十二萬三千六百圓國庫補助、二十四萬七千圓縣費)で本年度より二ヶ年計畫として着手する事

に決定してゐたが、政府緊縮方針の爲國庫補助を得ることが出來ず、遂に之を三ヶ年繼續事業に變更した。然しながら果して縣庶務課が之を容認するや否や疑問であるといふ。

九州方面

洲崎橋渡橋式

福岡市の中央を流れる那珂川口を挾んで福岡と博多を結ぶ洲崎橋は、昭和二年二月總工費十二萬六千圓を投じて起工し、約二ヶ年を費し此の程美事に竣工したので、十月三日午前十一時より盛大な渡橋式が行はれた。先づ洲崎運動場で祭典を擧げ、同市の家三夫婦を先頭に時實市長、市有志の渡初があり、次で福岡部代表大名小學校兒童三百名、博多部代表檜屋小學校兒童三百名が旗行列をなして渡橋し、餅まきや天幕張の立食祝賀などで頗る盛會裡に午後一時

散會した。同橋は全長三百九十二尺、幅五十三尺で中央を博軌電車が通り、人道、車道の區別あるコンクリート造で、高欄は近世式自由型を採用し福岡縣第一の麗姿であつたと稱してゐる。

黒目橋渡橋式

福岡縣鞍手郡中村の黒目橋に豫てから工事中の處愈々落成を告げ、十月三日午前十時より盛大なる渡橋式を擧行した。

飯塚久留米線實測

福岡縣飯塚土木管區は十月一日飯塚を中心とする縣重要幹線道路中飯塚久留米線の實測に着手し月末を以て終了した。

中川通り

鋪裝通初及落成式

工費一萬圓を以て道路鋪裝並に街路照明燈を建設した福岡縣若松市中川通りは去月

六日午前九時五色の旗を以て飾られた大道路の中央に祭壇を設け厳かな修祓通初式を行ひ、午前十一時旭座で落成式を舉行した。開會挨拶、君が代唱歌に次で縣技師の工事報告、各方面からの祝辭答辭等を終り、若松名物の打込景氣よく紅白餅撒きを行ひ、餘興芝居を催ふし、又一方には宣傳の爲め自動車數臺を連られて全市を練り廻し氣勢をあげた。

一市二郡聯合で道路の手入

福岡縣久米土木管區では、近來乗用自動車やトラツクの激増と共に道路の破損甚だしく爲に交通を阻害し、産業の發達にも大影響があるので、道路愛護の精神を鼓吹する爲め去月十五日久留米、三井三藩の一市二郡の全町村に亘り在郷軍人、青年團、處女會、少年團、主婦會其他あらゆる團體が協力一致して一齊に道路の除草、小破修繕側溝浚深、地均し、障害物の除去等を行つ

た。斯る作業の實施は福井縣其他の府縣にも既に行はれ、非常に好成績を擧げてゐるが今回同地方の實施も産業開發上多大の効果を齎したのと言ふべきである。

折角の街路鋪裝が

降雨の爲破損

下關市街路鋪裝工事は、目下西細江町及入江町方面を工事中であるが、既に一部竣功した豊前田町及西細江町も、這般來の雨に餘程破損をした由で、かくの如きでは到底永久に耐ゆるものでないと認められた結果、コンクリートに改めてはといふ説も出て遂に行詰まり、土工事は繼續してゐるも、鋪裝工事は中止中である。これが爲め車馬の通行は禁止されてゐるので通行上非常に不便を感じてゐる。元來同工事は坪當り九圓五十錢の豫算の由で、商工會議所前の十一圓五十錢に比し二圓の安價はよいが、それだけ材料が悪いのであらうといふ聲もあり甚だ不評判であるが、市當局は如

何にけりをつけるか、一般に注視されてゐる。

牟市南部の道路鋪裝

福岡縣大牟田市表通り五月橋から大牟田驛間三百餘間の鋪裝工事は昨年實施されたが驛を中心として以北は鋪裝道路であるのに反し以南は依然として悪路で頗る調和が取れないので驛から不知火町二丁目三叉路間百五十三間の鋪裝が計畫された事は前誌にて報告したが其の後市當局では沿道住民の諒解に極力奔走してゐるが沿道住民も驛から五月橋間の鋪裝實施に依り如何に體裁其他から見て鋪裝の必要があるかに痛感してゐる折柄であり案外順調に進展してゐる模様である。

×

×

×

×